

お客様 各位

令和8年3月1日
斑尾ホスピタリティ合同会社
職務執行者 辻 隆

2月28日（土）に発生した雪崩の調査・捜索活動報告

いつも斑尾高原スキー場をご利用いただき、誠にありがとうございます。

2月28日（土）14時05分頃、斑尾高原スキー場内「パウダーラインコース」において雪崩が発生いたしました。

お怪我をされた方とそのご家族の皆様へ、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

本日実施いたしました調査および捜索活動の結果について、下記のとおりご報告申し上げます。

1. 調査・捜索の実施内容

- ドローンによる上空からの確認（高度約75m）
- 雪崩範囲の計測
 - 最大幅：約185m
 - 最長区間：約600m
 - 末端分岐：約320m
- 斜面上部から末端までの広範囲確認
- 警察・消防・スキーパトロール・救助犬チームによる共同捜索

2. 雪崩の見解（関係機関との共通認識）

- 発生は斜面上部からの全層雪崩と推定
- 滑走しながら上層の雪を巻き込み拡大
- 途中で樹木が残存していることから、斜面全体が一斉に崩壊したのではなく、途中で拡大しながら流下した可能性が高い

発生予測について

一般的に全層雪崩の場合、グライドクラック（雪面の亀裂）等の前兆が確認されることが多いとされています。

しかしながら、今回は明確な予兆が確認されないまま発生しており、専門家の見解としても「非常に珍しい事例」とであると判断されております。

3. 捜索結果の評価

- 斑尾高原地区の宿泊事業者への確認を実施
- 駐車場の利用状況確認を実施

- ドローンによる生体反応確認：反応なし
- 救助犬による捜索：反応なし
- コース内およびデブリ（堆積雪）周辺を重点的に確認

4. 捜索参加人数（最終確認）

- 警察：3名
- パトロール：9名
- 調査チーム：3名
- その他関係者含む合計：約21名

5. 最終共通見解

1. 本雪崩は斜面上部を起点とする全層雪崩であること
2. 明確な予兆が確認されないまま発生した珍しい事例であること
3. ドローン・救助犬を含む最大限の共同捜索を実施したこと

6. 結論

- 捜索は可能な限り最大限実施済み
- 新たな手掛かりは確認されず
- 現場に関わった人員は全員無事帰還

7. 今後の営業予定について

本日は、安全確保を最優先とし、当初予定していたリフト3本を運休のうえ、調査および捜索活動を実施いたしました。

該当コースおよび関連リフトにつきましては、安全が確認されたエリアより順次営業を再開する予定です。

今後も安全管理体制の強化に努め、お客様に安心してご利用いただける環境づくりを最優先に取り組んでまいります。

何卒ご理解賜りますようお願い申し上げますとともに、引き続き変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先
斑尾高原スキー場
インフォメーションセンター
TEL：0269-64-3214
Mailsnow-info@madarao.jp

担当 光頭・小林